



プロ野球選手。松山市出身。幼い頃は小柄だったため、野球ではなく剣道に打ち込んでいた。甲子園の強豪校・愛媛県立松山商業学校(現、県立松山商業高等学校)に入学後も剣道をしていたが、3年生の時、野球部の監督に誘われて入部、すぐに頭角を現し、昭和6(1931)年に春夏連続で甲子園に出場、翌年の春の甲子園で優勝、夏の甲子園で準優勝をした。

昭和11(1936)年、松山商業学校の先輩・森茂雄監督に誘われ、大阪タイガース(現、阪神タイガース)創立と同時に入団、タイガースの初代4番バッターとして活躍し、東京巨人軍(現、読売ジャイアンツ)の名投手・沢村栄治と名勝負を繰り広げ、昭和12(1937)年に首位打者と打点王、翌年に2度目の打点王に輝いた。また、投手としても活躍し、昭和11(1936)年秋の防御率0.79は歴代2位の記録である。プロ野球草創期の伝説的な選手

として活躍し、昭和40(1965)年、野球殿堂入りした。

略歴

大正4(1915)年7月20日	松山市永代町 <small>えいだいまち</small> に生まれる。
昭和3(1928)年	松山商業学校に入学
昭和5(1930)年	松山商業学校の野球部に入る。
昭和7(1932)年	第9回全国選抜中等学校野球大会(現、全国高等学校野球選手権大会)で優勝(監督・藤本定義 <small>ふじもとさだよし</small>)
昭和8(1933)年	立教大学に入学
昭和11(1936)年	大阪タイガースに入団(初代監督・森茂雄)
秋	最高勝率(10割)、最優秀防御率(0.79)のタイトル獲得
昭和12(1937)年春	打点王(47打点)のタイトル獲得
秋	首位打者(打率3割3分3厘)のタイトル獲得
昭和13(1938)年春	打点王(31打点)のタイトル獲得
昭和14(1939)年	軍に入隊
昭和20(1945)年5月20日	フィリピン戦線のカラングランにおいて31歳で戦死
昭和40(1965)年	野球殿堂入り

(写真提供：個人)

〈関連図書〉

- ・松本謙治郎『タイガースの生いたち』 恒文社 1973年
- ・神田順治『92年度野球殿堂物語』 ベースボール・マガジン社 1992年
- ・『週刊ベースボール別冊陽春号 阪神タイガース60年史』 ベースボール・マガジン社 1995年
- ・新宮正春『プロ野球を創った名選手・異色選手400人』 講談社 1999年
- ・大阪歴史博物館『ファンと歩んだ70年 阪神タイガース』 阪神タイガース展実行委員会 2005年

〈関連施設〉…野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドーム21ゲート右 TEL: 03-3811-3600